

1. 総評

(1) 年度初めの学校の状況 【学校の現状及び前年度の成果と課題】

<学校の現状>

- ・「あいさつ・返事・靴そろえ」を基本方針として示し、当たり前のことを当たり前実践できる児童の育成を目指す。
- ・素直で元気、真面目に努力する子が多い。学校行事やスポーツ大会など明確な目標に対して一生懸命努力する。高学年児童を中心に主体的に活動する姿も見られるようになった。
- ・経験の少ない教師が過半数を占める中、今年度は人事異動も多かった。指導力向上は引き続き重要な課題である。学力定着推進委員や教科専門員の先生方のていねいな指導を受けて、徐々に指導力が高まって来た。
- ・PTA、保護者や地域の方々は、学校の教育活動に理解を示され、大変協力的である。昨年度、創立50周年記念の際には、記念式典・祝賀会など様々な記念行事に多大なる協力をしてくださり、盛大にお祝いすることができた。

<前年度の成果と課題>

○学力の向上

- ・授業規律が確立し、集中して学習に取り組める児童が増えた。学習の定着を図ることのできない内容を明らかにして効果的に学習を展開してきた。しかし、まだ、学力の向上は十分とは言えず、さらに、充実した指導が必要である。

○心の教育の推進

- ・6年主導の「朝のあいさつ運動」は、大きな成果をあげ、全校児童のあいさつへの意識の高まりを感じる。たてわり班活動による学校全体の交流が盛んになり、仲良く活動する様子が見られる。今後さらに日常的な道徳的判断力と実践力に結び付けていくことが課題である。

(2) 今年度の重点目標とそれに向けた取組みの概要**重点的な取組事項－1 授業力の向上並びに学力の向上**

～4月の区学力調査問題の各学年の通過率75%を目指す。

- ・授業規律を定着させ、授業に集中できるようにする。
- ・基礎的基本的な学習内容の定着が図れるよう、授業及び家庭学習の充実を図る。
- ・学力調査の結果について詳細を分析し、つまずきのある児童に対しての個別の指導を充実させる。

重点的な取組事項－2 幼保小中の連携

～連携の推進と円滑な接続とともに欠落のない接続を目指す。

- ・幼保小の連携は、谷在家保育園に加え、沼田保育園とも連携を進めていく。
- ・小中の連携は、通常級は皿沼小学校と加賀中学校と、特別支援学級は鹿浜菜の花中学校と連携を行う。
- ・教員の交流だけでなく、園児と児童、児童と生徒との交流などを実施する。

重点的な取組事項－3 心の教育の推進

～自他を尊重する気持ちと態度の育成

- ・「あいさつ・返事・靴そろえ」といった集団生活・社会生活を円滑に営む上での基礎的・基本的なことが、きちんと当たり前でできる児童を育成する。
- ・日常の道徳の授業及び道徳的指導の充実を図る。
- ・交流活動の充実を図る。
- ・伝統文化や地域や社会とのつながり、環境を大切に活動を進める。

(3) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性**重点的な取組事項－1 授業力の向上並びに学力の向上**

○パワーアップタイムの充実

- ・学力調査分析をもとに、学年全体の課題となる内容を吟味し、段階的な定着を図っていくために、パワーアップタイムの充実を図る。(朝8時20分から40分)

○放課後補充指導、補習指導の充実

- ・「東京ベーシックドリル」「習熟度プリント」などを教材として活用するとともに、学力調査の結果について詳細を分析し、つまずきのある児童に対しての個別の指導を充実してきた。

○プレジデントタイムの実施

- ・夏季休業中の補充教室からの取り出し指導及び昼休み(13時10分から25分)の指導に管理職が関わり、基礎学力の向上を図る。

○教員の授業力向上に関する取り組み

- ・校内の若手教員研修会を立ち上げ、計画的に実施運営し、若手教員の育成に力を入れる。(年間30回実施)
- ・毎週の学習計画を確認し、管理職が定期的に授業観察を行い、授業力向上に働きかける。授業観察後は「アドバイスシート」を渡し、校長が指導助言を行うとともに、授業力向上へとつなげる。

重点的な取組事項－２ 幼保小中の連携

○連携の推進と円滑な接続を目指す。

- ・幼保小の連携は、谷在家保育園と沼田保育園との連携を行う。また小中の連携は、通常級は皿沼小学校と加賀中学校と、特別支援学級は鹿浜菜の花中学校と連携を行う。教員の交流だけでなく、園児と児童、児童と生徒との交流などを計画的に実施することができた。特に保育園との連携においては、校長が両保育園に出向き、次年度、1年生に入学する園児の保護者向けに子育て講演会を行う。(谷在家＝1月18日、沼田1月24日)次年度は、さらに連携を充実したものにしていく。
- ・次年度の通常級の小中連携は、進学生徒数の割合が多い、西新井中学校、西新井第一小、二小のブロックに属し、研究を進めていく。

重点的な取組事項－３ 心の教育の推進

○「あいさつ、返事、靴そろえ」

- ・あいさつに関しては、6年のみならず3～5年生、児童会も交え、活性化を図ることができた。しかしながら「誰とでも」「自らすすんで」「目を合わせて」といった、一歩すすんだ実践的なあいさつができるようになるには至らない。継続した指導が必要である。
- ・教室では、学習ルールの基本として「はい。立つ。～です。」を共通し、各学級で実践してきた。その結果、丁寧な言葉遣いを意識できる児童は増えてきたものの、十分定着しているとは言い難い。継続した指導が必要である。
- ・靴そろえに関しては、各担任も目を配るとともに、各学級で係児童も管理する等、すすんで実践する姿が見られた。今後とも継続していく。
- ・授業観察時に道徳の授業を行うよう働きかけることや、年間50号発行した「校長室便り(校長から職員に向けた情報紙)」で道徳について扱うことを通して、教員の道徳教育に関する意識に変容が見られた。
- ・道徳授業地区公開講座講演会において、校長が保護者、地域の方々向けに、講演会を行う。その中で、保護者、地域の方々に児童役をお願いし模擬授業を行い、実際の道徳の授業がどのようなものなのかを体感していただいた。またその講演会の中で、道徳の教科化についても触れ、浸透を図った。
- ・なかよし学級と通常学級との交流活動、他校の特別支援学級との交流行事を行う。
- ・校内は行くコンクールを2回実施し、毎回、校長賞、副校長賞、鹿一小を選出する。
- ・地域の昔遊びや伝統文化に関する授業を行う。
- ・4年生は社会科のごみの行方の学習を通して、プロネイチャリストを学校に招き、環境教育に関する理解を深めた。また5年生は、鋸南自然教室において、沖ノ島でのビーチコーミングやエコプロジェクトの参加を通して、環境教育に関する理解と関心を深めた。

(4) 保護者や地域へのメッセージ

- 登校時の「あいさつ運動」には、各学年のPTAの皆様にも積極的にも協力いただきました。子供たちのマナー向上だけでなく、安心・安全な学校づくりにも効果的な取り組みとして、大きな成果をあげています。
- 谷在家、押部町会の交通安全運動、PTA「鹿一村祭り」など、子供たちのために様々な活動を行ってくださり、いつも大変感謝しております。特
- 運動会や音楽・学芸的発表会、持久走大会などにも、大変多くの方の参観をいただき、感謝申し上げます。学校公開や授業参観に関しても、積極的にもご参加いただき、ありがとうございます。子供たちの日常の様子についても、より多くの方にご覧いただきたいと思います。
- 今年度より、鹿一小ブログを立ち上げました。9月より発信を開始し、2月14日現在20040件のアクセス履歴をいただいています。今後も様々な行事を始め、子供たちの学校での生活や学習の様子を積極的にUPしてまいります。

2. 平成28年度の重点的な取組事項

<達成度 ◎:十分に達成 ○:おおむね達成 △:達成せず ●:課題が残る>

重点的な取組事項－1 基礎学力の定着

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
4月の区学力調査の通過率アップする。	75%	75.9% ※実際には4月の結果で評価 87.6% *1月再調査	基礎学力定着に向けた取り組みが成果を上げている。今後も継続して取り組みたい。	○	
目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
パワーアップタイムの充実	・年間計画に基づいて、学年で意図的計画的な指導の実施、年間100回以上	・学力調査分析を基に学年全体の課題となる内容を吟味し、段階的に定着を図っていく。	・春先に課題分析を行い、パワーアップタイムの指導に活かした。	・次年度以降パワーアップタイムの時間に、読書活動やも盛り込んでいく。	○
放課後補充指導・補習指導の充実	・45分×年間100回以上	・「東京ベーシックドリル」「習熟度プリント」などを教材に活用する。 ・全校体制で指導に取り組む。	・夏季休業中も補習を行い、どの学年も100回以上実施する。 ・補充補習以外に、宿題忘れの児童の学習の機会としても活用した。	・「東京ベーシックドリル」を年間を見通して効果的に活用していくとともに、今後学校独自のテキストや内容を開発していきたい。	○
プレジデントタイムの実施	・2年の児童の基礎計算の定着に課題がある対象に指導、年間100回以上	・毎日、昼休み中に校長を中心に指導 ・夏季休業中も実施	・ほぼ毎日実施。夏休み中や校長不在時、副校長も指導に参加した。	・さらに、意図的計画的に実施していきたい。	◎

重点的な取組事項－2 幼保小中の連携

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
連携の推進を通して、円滑な接続とともに、欠落のない接続を目指す。	・1月の調査で、100%の教員から連携事業へのよさを認める回答。	・連携の必要性を感じ、昨年度より、一歩連携が前進したことが感じられる。	・幼保小及び小中の連携活動は、昨年度に比べ計画的に実施することができ、授業研究を深めることができた。授業力を向上視点からの連携をさらに深めていきたい。	◎	
目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
中学校教員との交流	・小中交流会、準備委員会を各10回の実施 ・校長間の連絡を密に取る。月1回	・連携事業10回。各教科の研究授業実施、各校1回ずつ。 ・月1回の顔合わせ。	・計画通り実施することができた。	・さらに、連携を深めていく。	◎

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
保育士や学童指導員との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員による保育園見学会の実施 ・年間3回以上の保育園児と低学年の交流事業 ・保育園の保護者会参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員による見学会実施。 ・授業体験、公開授業、図書室見学、給食体験、展覧会等への招待。 ・谷在家保育園、沼田保育園での校長の保護者説明会参加。 	・予定通り実施することができた。	・就学前の情報交換をさらに密に行うようにしていく。	◎
教員と児童、生徒との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業：3回以上 ・夏季補充教室：10日間 ・部活動、授業体験：1回 ・中学校説明会：1回 ・あいさつ運動実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業：算数、体育、図工等 ・夏季補充教室：指名補習 ・部活動、授業体験：学年末考査中 ・中学校説明会：生徒会が来校 ・中学生とのあいさつ運動の実施 	・計画通り実施することができ、交流を深めることができた。	・今後も同様に交流を展開していく。	○

重点的な取組事項－3 心の教育の推進

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自他を尊重する気持ちと態度の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心 ・規範意識 ・礼儀 	児童アンケート結果の向上 80%以上	児童アンケート結果の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心 96.5% ・規範意識 91.2% ・礼儀 81.4% 	児童の自主的な活動を重視し、「あいさつ、返事、靴そろえ」をスローガンに指導をし、自己肯定感の育成を意識して教育活動を行ってきた。家庭との連携を図りながらさらに、意識的に教育活動する必要がある。	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
気持ちのよい挨拶の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートで、あいさつ・言葉遣いに関する項目 80%以上 ・学校関係者評価で、あいさつ思いやりに関する項目 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生を中心とした挨拶運動を毎年実施する。 ・学校便り、保護者会、ホームページで保護者地域に啓発活動を行う。 ・PTA、地域と連携したあいさつ運動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート結果 思いやりの心 96.5% 規範意識 91.2% 礼儀 81.4% ・PTA、地域と連携した挨拶運動の実施 ・ホームページ2万アクセス達成 	・学校の中での挨拶は活性化したが、地域の中で、自分からすすんでとなると課題が見られる。今後さらに家庭・地域と連携し啓発していく。	△
交流活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし学級と普通学級の交流活動を実施する。 ・高野小特別支援学級と交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし学級の児童と普通学級で授業や行事で交流を行う。 ・高野小学校と連携し、スポーツ、歌、ゲーム活動の交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし学級の児童と普通学級で授業や行事で交流を実施した。 ・高野小学校と連携し交流を行う活動を計 	・交流の仕方について工夫して、心と心の交流を目指す。	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
	活動を年2回実施する。		画的に実施することができた。		
伝統文化を大切に する活動の推進	・俳句コンクールに投稿 ・校内俳句コンクール年間2回実施	・一茶まつりなどの俳句コンクールに積極的に投稿する。 ・各学級で計画的に句会を実施する。	・予定通り実施。	・次年度は、さらに本校の特色になるように取り組んでいく。	○
地域や社会との つながりや環境 を大切にする活 動の推進	・各学年において環境教育を実施（各1回以上） ・児童会等で環境活動を実施（1回以上） ・地域や社会に貢献する活動実施（3回）	・各学年における環境教育に関する学習内容を明らかにして、意識的に環境教育を実施する。 ・代表委員会、環境委員会等での環境活動を実施する ・社会貢献活動を実施する	・予定通り実施することができた。環境委員会による環境活動を実施した。 ・鋸南自然教室では、沖ノ島でのビーチコーミングを通して環境に関する意識を高めた。	・昨年度より、児童の自主的な活動になり、地域や社会とのつながりについて意識する教育活動になった。	○

3. 学校活動全般について

<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学力向上の取組として、全職員で、授業力向上に取り組み、朝のパワーアップタイムや放課後補習、土曜日の鹿一タイムを実施してきた。しかし、つまずきが解消されていない児童もまだ見られる。さらに、授業力向上や補修補充に力を入れていく。一方、体力向上の取り組みとして、業間の持久走やなわとびタイムにも取り組んできた。継続して行い、一層力を付けさせたい。 ・4年～6年の有志児童で構成されている「鹿一金管バンド」は、全校の1割以上の児童が参加し、年間を通して朝練習を行い、鹿浜地区合同音楽会や足立区研究演奏会で迫力ある素晴らしい発表をすることができた。また、男女ミニバスケットボールやサッカー大会（いずれも決勝トーナメント出場）、将棋大会、百人一首大会、環境かるた大会など、有志児童が積極的に校外での行事に参加し、意欲的な姿が見られた。 ・学校・家庭・地域のボランティアの方との連携で、「野菜くずリサイクル活動」を行い、持続可能な社会づくりへの取り組みをすることができた。これは、本校の特色であり、他校や他の地域に誇れる取り組みだと考えている。 ・今年度9月より、ホームページ内にブログを開設する。学校行事や宿泊行事を始め、学校での様々な出来事やPTA活動に至るまで、毎日更新を目標に情報発信を行ってきた。9月の開設から5ヶ月、2月14日現在で2万アクセスを達成した。今後も本校での実践を保護者や地域の方々向けに随時発信していく。
